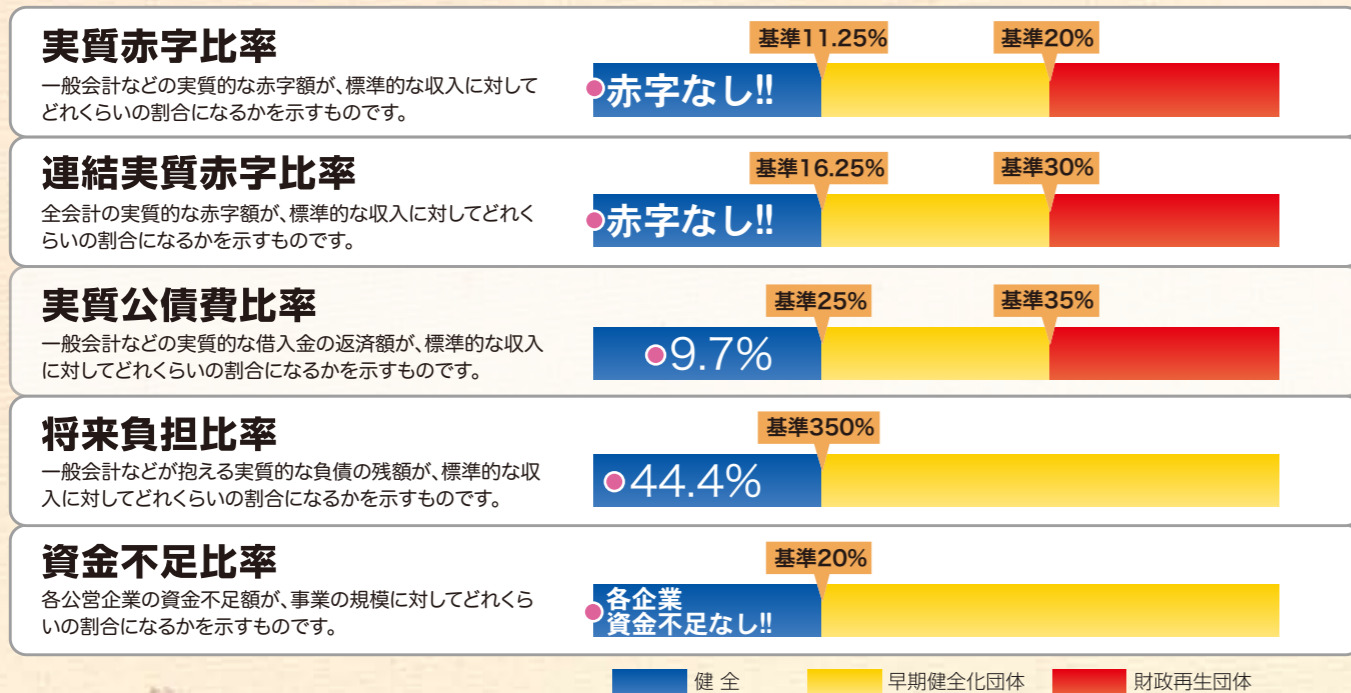


平成26年度決算に基づき算定した 財政健全化判断比率

※佐世保市はすべての指標でクリアしています。



これからも健全な財政運営を行います。

【財政運営の方針】

「質の高い」財政運営 「自立した」財政運営 「信頼される」財政運営

財政規律(収支の均衡、将来負担の抑制、適正な受益者負担など)を守りながら、計画的、効率的な財政運営に努め、地域の活性化を図りつつ、財政の健全性を維持します。

【今後の財政運営】

少子高齢・人口減少社会の進展や行政需要の多様化などに伴い、将来の財政見通しは非常に厳しい状況にあり、行財政改革推進計画による改革改善を行わなければ、安定した財政運営が確保できない状況にあります。今後、市民の皆様のご理解をいただきながら、この収支不足の解消のためさらなる改革を行い、財政の健全化を図るとともに、持続可能な財政運営に努めていきます。



平成26年度決算に基づく現状値

	現状値	目標値
実質的な財源調整2基金※1の残高の標準財政規模※2に対する割合	13.0%	10%以上
実質公債費比率※3	9.7%	12%以下
経常収支比率※4	89.3%	90%以下

- ※1: 正味の財源調整にあてることができる財政調整基金と減債基金の残高のことで、佐世保市の貯金を指すものです。
- ※2: 地方公共団体の標準的な状態で通常収入されると見込まれる経常的一般財源※5の規模を示すもの。
- ※3: 地方公共団体の公債費による財政負担の度合いを判断する指標。
- ※4: 財政構造の弾力性(ゆとり)を判断するための指標。地方税・普通交付税などの、使いみちを制限されない毎年収入される性質の収入(経常的な収入)に対する、人件費・公債費・扶助費など毎年支出される性質の支出(経常的な支出)の割合です。
- ※5: 使いみちを特定されず、どのような経費にも使用することができる財源です。市税、地方譲与税、地方交付税などがこれにあたります。

この付録は、佐世保市の平成26年度(平成26年4月1日～平成27年3月31日)の台所(財政)事情をわかりやすくお知らせするために制作した情報誌です。

平成26年度決算

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

26万人の台所事情

させぼさんちの家計簿



佐世保市の財政についてもっと知りたい方は、市のホームページにアクセスしてください。また市役所6階 行政資料閲覧コーナーでも各種資料をご覧いただけます。

お問い合わせ先

佐世保市 財務部 財政課 〒857-8585 佐世保市八幡町1番10号
☎0956-24-1111(内線2631~35)
ホームページアドレス <http://www.city.sasebo.lg.jp/>

佐世保市財務部

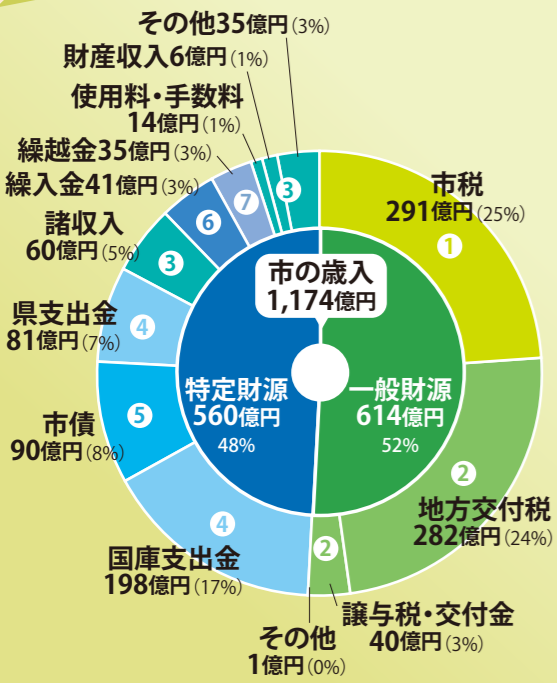
させぼさんちの家計簿

佐世保市の平成26年度一般会計決算を、1年間の支出が500万円(1ヶ月あたりの支出41万6,600円)の「させぼさんちの家計」に例えてご紹介します。

家や車の修理代は少し減ったね。ただ、これからも修理や買い替えなどは避けられないから、きちんと計画を立てていかないといけないね。



どんな収入があったの?



市税
市民の皆さんから納めていただいた税金。市民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税など

地方交付税
国税のうち市の取り分として交付されたお金

譲与税・交付金
国税・県税のうち市の取り分として譲与・交付されたお金

諸収入
延滞金、預金利息、貸付金元利収入、雑入など

使用料・手数料
市営施設の使用料や住民票の写しの交付手数料など

国庫支出金
国と市が共同で行う事業のために国が市に支出したお金

県支出金
県が市に対して支出したお金

市債
市が国や銀行から借りたお金

繰入金
市の基金から引き出したお金

繰越金
前年度に残ったお金

自由に使えるお金(一般財源)と使いみちが決まっているお金(特定財源)と、半々くらい。自由に使えるお金が増えると、家計のやりくりはしやすいけど。

家や庭の改修など、臨時の大きな出費の一部は、祖父母からの援助をお願いしているよ。また、道路や住宅の建設などでは、ローン(借入金)もしているんだ。これは、何十年も使う施設の建設費用を後の世代の人たちにも負担してもらおうという意味もあるんだよ。

平成26年4月～平成27年3月の月平均家計

1ヶ月あたり

収入		支出	
	25年度からの増減		25年度からの増減
現金収入	367,700円 (+5,600円)	生活費計	272,400円 (+8,500円)
① 給料(基本給)	106,000円 (+2,100円)	① 食費	56,800円 (+1,700円)
② 給料(諸手当)	120,800円 (+1,600円)	② 医療費	103,300円 (+7,100円)
③ パート収入	39,000円 (-700円)	③ 光熱水費など雑費	70,300円 (+2,100円)
④ 祖父母からの仕送り	101,900円 (+2,600円)	④ 車などの修理代	2,100円 (±0円)
⑤ ローン(借入金)	32,700円 (-4,100円)	⑤ 教育費	39,900円 (-2,400円)
⑥ 貯金の取り崩し	15,100円 (-1,800円)	⑤ 子どもへの仕送り	26,800円 (+1,600円)
⑦ 繰越金	12,800円 (-1,000円)	⑥ ローンの返済	46,600円 (-200円)
		⑦ 家や庭の建築・改修	36,300円 (-4,300円)
		⑧ 貸付など	20,200円 (-1,600円)
		⑨ 貯金	14,300円 (-4,300円)
収入合計	428,300円 (-1,300円)	支出合計	416,600円 (-300円)
		余り(収入-支出)	11,700円 (-1,000円)
貯金残高	896,000円 (+2,000円)	ローン残高	4,743,000円 (-59,000円)

給料と仕送りが増えただけ、医療費や子どもへの仕送りがそれ以上に増えているから楽にはならないなあ。

人件費
市職員の給料や議員報酬など

扶助費
生活保護、障がい者支援、医療費助成など福祉に使ったお金

物件費
光熱水費、消耗品費、業務委託料など

補助費等
報償費、負担金、補助金など

維持補修費
道路、公共施設を維持するために必要なお金

教育費
教育費には人件費や物件費、普通建設事業費などが含まれています。

繰入金
下水道事業や介護保険などの他の会計への繰入金

公債費
市債の元金・利息や一時借入金の利息

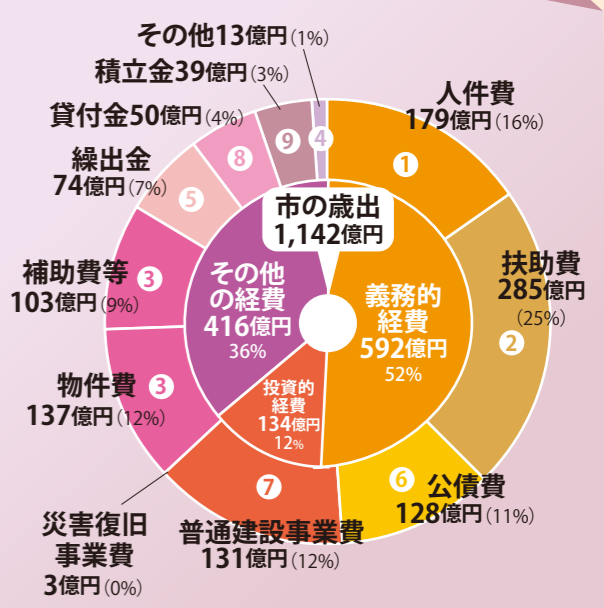
普通建設事業費
道路・庁舎など、公共・公用施設の建築・改修に使ったお金

災害復旧事業費
大雨、暴風などの災害により被災した施設を復旧するためのお金

貸付金
福祉増進や地域振興のために貸したお金

積立金
将来の財源変動に備えて積み立てたお金

どんな支出があったの?



医療費がずいぶん増えたね。これからは医療費は増えそうだから、食費や光熱水費など、できることから切りつめないといけないわね。

貯金が増えたよ。貯金は将来のために、できるだけ維持しないとイケないね。

ローンが少し減ったよ!

26年度決算のポイント

- 国の地方交付税削減に伴う臨時的な職員給減額措置が25年度で終了したことによる反動による人件費の増や、消費税引き上げへの対応措置である臨時福祉給付金、生活保護費など扶助費の増などがあったものの、国体関連の施設整備、学校給食センター整備、動植物園再整備事業などの終了などによる普通建設事業費の減などにより、決算規模は約1%の減少
- 社会保障関係費の増などにより、義務的経費が増加

26年度のトピック

- 長崎がんばらんば国体・長崎がんばらんば大会の開催
- 学校などの耐震対策
- 国際ターミナルの整備
- クルーズ客船誘致の推進
- 子ども発達センター・中央公民館の整備

26年度を振り返って...

単年度収支が4年連続の赤字となるとともに、基金の積立、取崩しなどを加味した実質単年度収支も赤字となっています。しかしながら、学校給食センター整備などの大型事業の終了による借入額の減少や、将来を見据えた借入の抑制も含め実質的なプライマリーバランス(※1)の黒字を達成した結果、市債残高は減少しています。

また、財源調整のための2つの基金(※2貯金)の残高が、前年度末から4億円の増となっており、厳しい財政状況にある中で、将来を見据えた健全な財政運営ができたと考えています。

(※1) 市債の元金償還額から発行額を差引いた金額のバランスを見たものです。これが黒字ということは、借金の額が減っていくことを意味しています。

(※2) 正味の財源調整に充てることができる財政調整基金と減債基金の残高のことで、佐世保市の貯金を指します。

市の財務状況は? 平成26年度佐世保市バランスシートについて

作成目的 佐世保市のバランスシート(貸借対照表)は、市が昭和44年以降、市税の投入等により整備してきた資産の構成や、将来返済しなればならない負債と返済を要しない純資産の状況(平成27年3月31日現在)を明らかにするもの。



資産に対する負債、純資産の割合は、およそ3:7となっています。

負債のうち地方債(借金)は、住民サービスを受ける世代間の公平性の観点から発行していますが、今後、この負債(将来世代負担)が大きくなるよう注意していく必要があります。

どのような資産を保有しているか

- ① 土地・建物・道路など 4,060.9億円
- ② 投資や基金 442.2億円
- ③ 現金・預金 141.6億円
- ④ 未収金 5.7億円

資金をどのように調達しているか

- ① 借入金(地方債など) 1,169.3億円
- ② 退職手当引当金 166.1億円
- ③ その他負債 15.8億円